

# 中山間地域における活動機会の価値構成に関する研究 — 買物・通院行動に着目して —

社会システム計画学研究室2011年度卒業研究 松浦稔

## 研究の背景

### 中山間地域

高齢化・過疎化に伴う商業施設や医療機関の衰退  
→日常生活に不便を感じている人々の増加

各地で移動支援や巡回施設等の様々な取り組みが試みられている

しかし、支援方法が多様化する中で

どういった居住者がどのようなサービスを求めているか？  
→定量的な把握はできていない

→ 居住者の価値観を踏まえた上で、どのような地域でどのようなアプローチを行っていくことが有効か評価する必要性

## 研究の目的

居住者の買物・医療サービスに対する重要度と  
それに影響を及ぼす要因を明らかにする

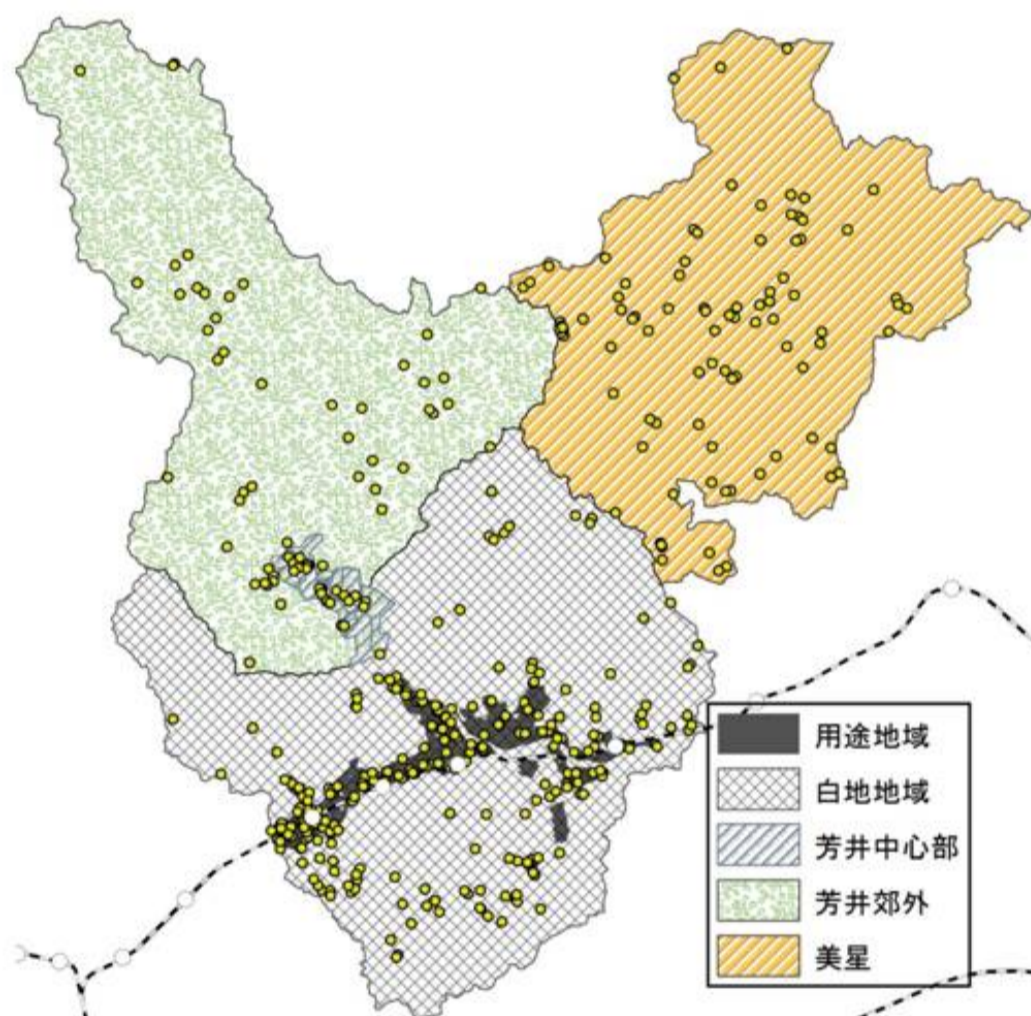
- ・店舗・病院まで自分で行けることの重要度と、店舗・病院が近くに来ることの重要度を個人属性・居住地特性の観点から比較
- ・買物サービスと医療サービスに対するニーズの違いを比較

## 居住地分類

都市計画区域内外及び地理的特徴から井原市を5地域に分類

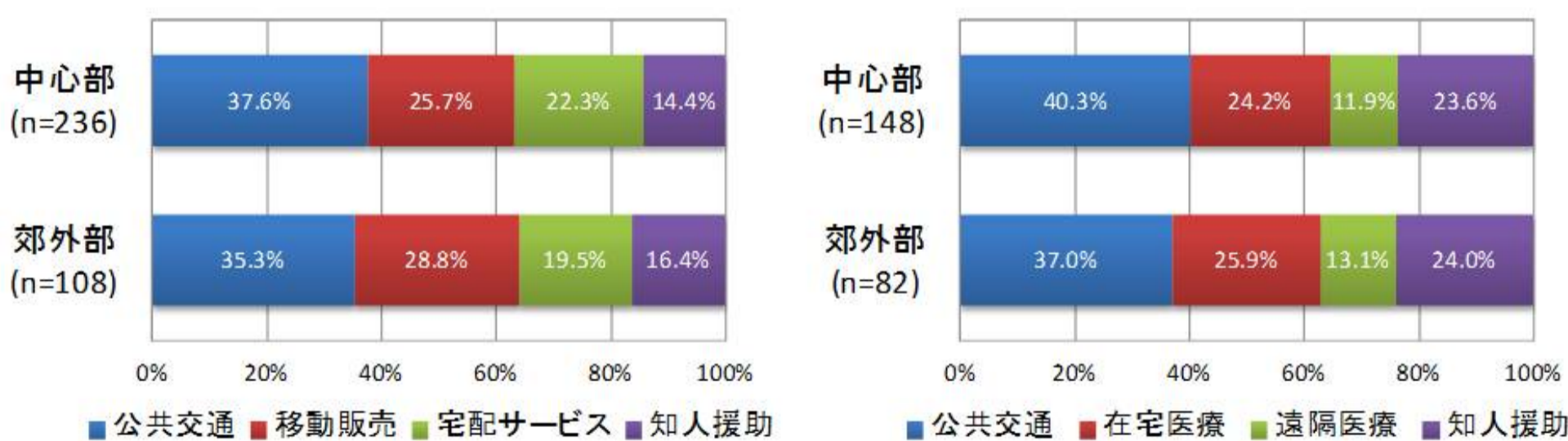
回答結果より、傾向が近い地域同士を統合し、さらに2地域に結合

- 中心部**
  - ・用途地域
  - ・白地地域
  - ・芳井中心部
- 郊外部**
  - ・芳井郊外
  - ・美星

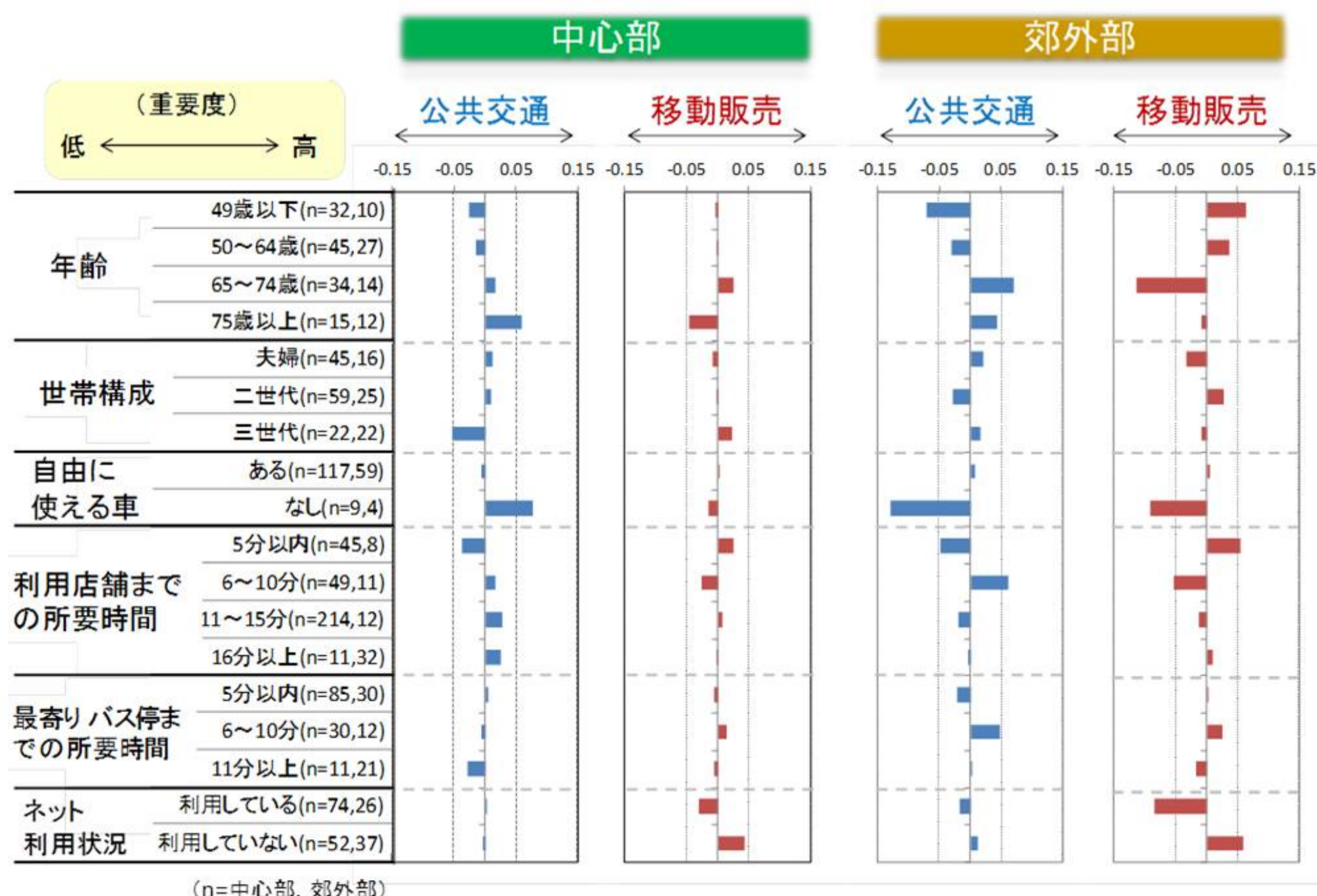


## 分析結果

### ◆ 買物・医療サービスの重要度算出結果



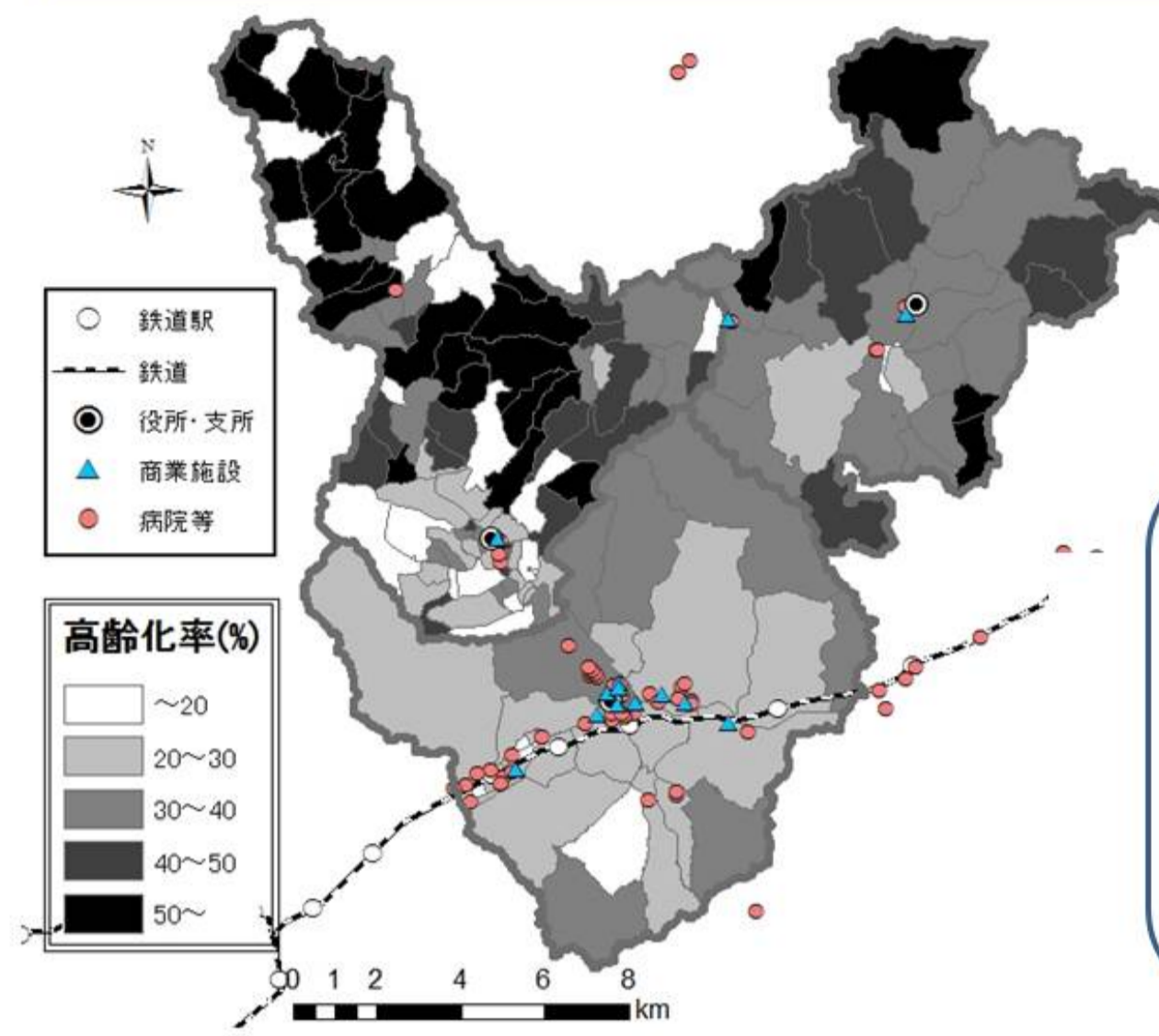
### ◆ 買物サービスの重要度に関する要因分析(公共交通・移動販売に着目)



## 分析対象地域とアンケート調査

### 岡山県井原市

人口: 43,927人  
人口密度: 1.81(人/ha)  
高齢化率: 31.3%



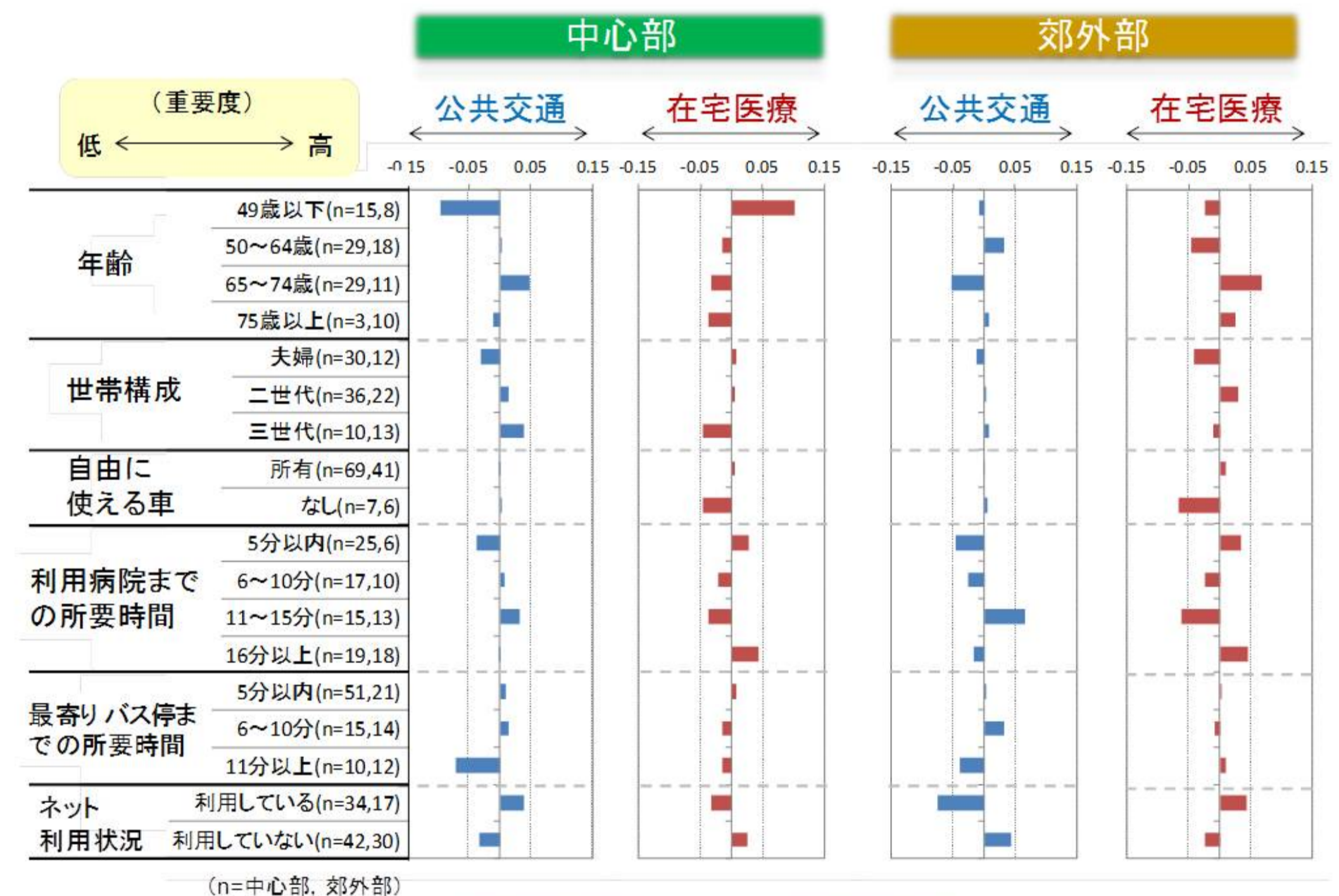
井原市の高齢化率(2010年国勢調査)

- ・北部の中山間地域を中心に高齢化が顕著
- ・商業施設や医療機関が衰退傾向にあり、地域ニーズに対応した供給体制づくりが望まれている

### アンケート調査の概要

調査名	井原市の公共交通及び持続可能性を考えるためのアンケート調査
調査対象地域	井原市全域
配布・回収方法	無作為抽出後、郵送配布・郵送回収
調査時期	2011年12月
配布票数	1,500票
回収票	881票
回収率	58.7%
主な調査項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>●個人属性</li> <li>●日常の買物・通院行動</li> <li>●公共交通・移動販売等の利用状況</li> <li>●公共交通・移動販売等の活用意向</li> <li>●買物・医療に関する意識</li> </ul>

### ◆ 医療サービスの重要度に関する要因分析(公共交通・在宅医療に着目)



AHPを用いて居住者の買物・医療サービスそれぞれに対する価値意識(重要度)を把握→数量化I類

## 結論

### 買物サービス(中心部⇔郊外部)

中心部・郊外部共に高齢層ほど「公共交通」を重視

### 医療サービス(中心部⇔郊外部)

中心部・・・若年層ほど「在宅医療」を重視  
郊外部・・・高齢層ほど「在宅医療」を重視

### 買物・医療サービスの比較

買物・医療サービス共に、利用施設までの所要時間が長くなるほど、「公共交通」の重要度は低くなる(中心部の買物に関しては例外)

郊外部の高齢層は買物サービスに関しては「公共交通」を重視するが、医療サービスに関しては「在宅医療」を重視する

郊外部では公共交通サービスと巡回サービスの併用を考慮すべき